



札私幼

《編集》
札私幼広報委員会

《発行責任者》
一般社団法人
札幌市私立幼稚園連合会
前田 元 照

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
札幌市生涯学習総合センター内
☎ 671-3590 FAX 671-3591

第 165号

令和2年
3月30日
発行

永年勤続者表彰式 新年交礼会

令和2年1月20日(月)ホテル札幌ガーデンパレスにて永年勤続者表彰及び新年交礼会が開催されました。

敷副会長の開会の言葉で始まり、前田元照会長の挨拶とねぎらいの言葉が述べられました。続いて永年勤続表彰式が行われ、勤続30年4名(うち出席2名)、勤続20年13名(うち出席9名)、そして勤続10年52名(うち出席27名)が表彰されました。表彰者を代表して、西野桜幼稚園副園長の山内英玲子先生より感謝の言葉がありました。

引き続き行われた新年交礼会では、札幌市副市長町田隆敏様、北海道私立幼稚園協会会長川島教孝様より会場が温まるようなご祝辞を頂き、北海道議会議員角谷隆司様の御発声で祝宴が始まりました。

各テーブルでは料理を楽しみつつ歓談が行われ、久しぶりに再会した同期の先生方で会話が盛り上がるなど、出席者がお互いに親睦を深める楽しい時間となりました。また、ご来賓の皆様にてテーブルスピーチをお願いし、前衆議院議員・自民党札幌支部連合会会長高



木宏壽様、北海道私立幼稚園PTA連合会会長大越誠之様、札幌市私立保育園連盟会長菊地秀一様よりそれぞれお話を頂きました。

結びの乾杯は佐々木和也札私幼PTA連合会会長が務め、和やかな雰囲気ではが無事終了しました。



山内英玲子先生



町田副市長



札私幼P連 佐々木会長

永年勤続表彰受賞者

✿ 勤続30年表彰 (園番号順)

4名



金澤里美
(大通幼稚園)

亀谷由美
(麻生明星幼稚園)

松村博子
(さわらび幼稚園)

秋元直子
(富丘つくし幼稚園)

✿ 勤続20年表彰 (園番号順)

13名



中村洋佳
(麻生明星幼稚園)

高松摩衣
(認定こども園こうほく)

齋藤春美
(Cinq Perles・サンクパール幼稚園)

中村貫太郎
(札幌三育幼稚園)

森谷美和
(札幌三育幼稚園)

北清未佳
(認定こども園あいの里)

田中涼子
(幼保連携型認定こども園せいめいのもり)

佐藤朋子
(幼保連携型認定こども園おかだまのもり)

市澤貴久美
(本郷幼稚園)

佐々木妙美
(札幌白樺幼稚園)

葛西美穂
(認定こども園いちい幼稚園・保育園)

三橋まどか
(札幌白ゆり幼稚園)

山内英玲子
(西野桜幼稚園)

◆ 勤続10年表彰 (園番号順)

52名



- 吉本涼子 (認定こども園カトリック聖園こどもの家)
- 中田絵美 (大通幼稚園)
- 木村可愛 (大通幼稚園)
- 本多未来 (大通幼稚園)
- 高山明子 (大通幼稚園)
- 安倍智子 (麻生明星幼稚園)
- 蓼内夕紀子 (認定こども園つよし幼稚園)
- 本間有紀 (札幌北幼稚園)
- 戸澤郁美 (Cinq Perles・サンクパール幼稚園)
- 荒井麻祐子 (Cinq Perles・サンクパール幼稚園)
- 大河原恵 (札幌三育幼稚園)
- 鈴木麻美 (百合が原幼稚園)
- 小笠原裕子 (百合が原幼稚園)
- 原田莉衣 (あいの里大藤幼稚園)
- 栗栖誠子 (認定こども園メルシー学院)
- 佐藤麻紀子 (幼保連携型認定こども園せいめいのもり)
- 下田陽子 (札幌あかしや幼稚園)
- 大和富貴子 (幼保連携型認定こども園おかだまのもり)
- 野呂啓子 (幼保連携型認定こども園おかだまのもり)
- 原田直美 (札幌白樺幼稚園)
- 横山映理 (幼保連携型認定こども園ひばりが丘明星幼稚園)
- 八巻千絢 (もみじ台幼稚園)
- 小原秋久 (認定こども園いちい幼稚園・保育園)
- 高山裕美 (札幌第一幼稚園)
- 江渡治美 (札幌第一幼稚園)
- 内藤史子 (認定こども園なかのしま幼稚園)
- 山本恒子 (札幌若葉幼稚園)
- 鰐淵賢太郎 (札幌ゆたか幼稚園)
- 真杉志織 (西岡ふたば幼稚園)
- 齋藤剛 (西岡ふたば幼稚園)
- 松野舞 (札幌白ゆり幼稚園)
- 長谷川英一 (認定こども園まなび)
- 森田みずほ (認定こども園北野しらかば幼稚園・保育園)
- 上野修司 (認定こども園北野しらかば幼稚園・保育園)
- 伊藤憲司 (認定こども園北野しらかば幼稚園・保育園)
- 向ほたる (認定こども園北野しらかば幼稚園・保育園)
- 中村文音 (平ヶ岡幼稚園)
- 渡部楓佳 (真駒内幼稚園)
- 阿武奈津美 (光塩学園女子短期大学附属認定こども園)
- 河井彩子 (森の幼稚園)
- 犬飼由雅 (発寒にこりんこども園)
- 村上定生 (インターナショナル山の手幼稚園)
- 岡嶋加奈 (あづま幼稚園)
- 松矢望 (平和幼稚園)
- 倉田亜紗美 (さわらび幼稚園)
- 石川安以里 (さわらび幼稚園)
- 深瀬一成 (さわらび幼稚園)
- 下鳥淳 (さわらび幼稚園)
- 赤塚浩子 (幼保連携型認定こども園山王幼稚園)
- 畑みゆき (幼保連携型認定こども園山王幼稚園)
- 花釜ふさ代 (幼保連携型認定こども園まつぼの杜)
- 松田江里子 (幼保連携型認定こども園まつぼの杜)

令和元年度・幼稚園教諭養成校／札幌市私立幼稚園連合会 懇談会

毎年2学期末に札幌市内の幼稚園養成校と札私幼の懇談会を開催しております。今回は12月10日(火) ホテル札幌ガーデンパレスにて、養成校13校23名・札私幼18名(総務委員・各区の理事・監事)が参加しての開催でした。

札幌国際大学短期大学部 平野良明学長・札私幼前田元照会長の挨拶で会が始まりました。

米永広報委員長から令和元年度の札私幼就職フェアの報告があり、学生・養成校の先生・札私幼会員園それぞれが就職フェアを通して感じた点や思いなども含めての報告となりました。

懇談会はグループで【教育実習】【就職について】の意見交換を行いました。養成校側からのご意見として、各園の実習内容や方法を統一するのは難しいことを踏まえた上で、段階を踏んで進めてくれることで学生が現場に対して少しでも自信を持つことが出来ると就職にもつながっていくなどのお話が出ていました。また、

園側としては、学生が就職を考えた時にどのような点を重視しているのかなどについてお話を伺うと、処遇や休みの件はもちろんですが1年目の仕事内容や在職している先生方の経験年数なども気になるとのことでした。また、就職フェアだけではなく実際に園へ足を運んで保育や職場環境を見ることで、少しは就職に関してお互いにミスマッチを防げるのではないかと。このような意見も出ておりました。就職フェアについても今一度見直しを図り、次の開催につなげる手立てにもなる意見交換の場でした。

【養成校懇談会出席校一覧】

- ※藤女子大学
- ※北海道文教大学
- ※札幌国際大学
- ※北翔大学
- ※札幌大谷大学短期大学部
- ※光塩学園女子短期大学
- ※札幌国際大学短期大学部
- ※北翔大学短期大学部
- ※札幌大学女子短期大学部
- ※せいとく介護こども福祉専門学校
- ※経専北海道保育専門学校
- ※専門学校北海道福祉・保育大学校
- ※札幌スポーツ&メディカル専門学校



令和元年度 第2回特別支援教育研修会

札幌市私立幼稚園連合会主催の第2回特別支援教育研修会が12月18日(水)に、かでの2.7にて行われました。「自分も友達も大好き!」～受け入れ合い、支え合い、つながり合うインクルーシブ教育を考える～という演題で(学)武蔵野東学園 武蔵野東第一・第二幼稚園園長 加藤篤彦先生にお話し頂きました。

年長児による秋の造形発表の事例から、願いが叶わなかった子どもの思いを受け止め、どの子ども納得のいく方法を考えていくことが、インクルーシブであることのお話から始まりました。なぜ幼児教育にはよい効果があるのか、ヘックマン教授の理論において「意欲」と「根気」といった非認知能力が育つことであり、この力は「学びの志向」に必要な興味や集中力が持続することにも繋がるからであるとのことでした。また、支援の必要な子どもが将来、社会で気持ちよく生活していくためにも、挨拶や身だしなみ、食事のとり方等、生活のスキルを育てていくことも大切であること。その子の世界感を感じとり、何をしたいのか、何が楽しいのか保育者が寄り添う心を持ち、周りの子ども達と

どうかかわっていくか、一緒に考えて生活することが大切であること。そして、全ての子どもにおいて、結果ではなく、チャレンジする過程を認め自己肯定感を持てるようにすることが大切であることをお話し下さいました。その子が育ちの足場としている場所(砂場等)から、世界を広げていける働きかけをし、「居場所のあるクラス」を作っていくことが私たちの役目であることを教えて頂きました。



新型コロナウイルス感染症 ～北海道知事から緊急事態宣言～

本来であれば【臨時総会】【設置者・園長研修会】の報告をさせていただく予定でしたが、開催直前に札幌市を含めた全道で新型コロナウイルス感染症が拡がり急遽、中止となりました。

学期末にこの突然の事態、各園で保護者対応など様々な面で頭を抱えたのではないのでしょうか。

それぞれの園でどのような対応や措置をしたのかなど意見交換を各区の園長会などで出来ると今後、このようなことが起きた時の検討する目安にもなるのではないのでしょうか。落ち着きを見せ始めたものの、まだまだ終息には時間がかかりそうです。4月からの新年度も様々なリスクを考えながらの保育になりそうです。下記は事務局からもメール送信された今回のコロナ対応の最終アンケートの結果です。

札幌市私立幼稚園連合会 新型コロナウイルス対策に係る休園状況等調査その3 集計結果 (令和2年3月11日調査実施)

1 休園状況

(1) 実施の有無

	会員数	回答数 (A)	休園する		休園しない		自登園	1号休園率 (B/A)
			1号(B)	2・3号	1号	2・3号		
私学助成	30	20	16		1		7	80%
施設型給付	64	53	46		1		17	87%
幼稚園型 認定こども園	6	6	6	4	0	1	3	100%
幼保連携型 認定こども園	55	42	22	2	18	33	12	52%
合 計	155	121	90	6	20	34	39	74%

※期間を設けて自登園等としている園があり、回答数と横の計は一致しません。

(2) 休園期間

期 間	回答数	割合
2/28～3/6	4	4%
3/2～3/7	7	7%
2/27、28、3/2～3/13、14、15	27	29%
2/26、27、28、3/2～3/16、17、18	17	18%
2/27、28、29～3/19、20	14	15%
2/28、3/2、3～3/23、24、25	12	13%
2/26、2/28、3/2、9～3/31、4/7	5	5%
2/27～3/2(1)、2/27～3/4(1)、2/26～3/12(1)、 2/28～3/12(1)、3/4～3/13(1)、 3/16～3/17(1)、3/16～3/23(1)、3/13～3/25(1)	8	9%
合 計	94	100%

2 預かり保育

	会員数	回答数	実施 しない	実施する	やむを得ない 場合受け入れ	実施していない
私学助成	30	20	5	7	5	3
施設型給付	64	53	14	23	18	0
幼稚園型 認定こども園	6	6	0	2	4	0
幼保連携型 認定こども園	55	42	9	29	12	0
合 計	155	121	28	61	39	3

※期間により異なる対応をしている園があり、回答数と横の合計は一致しません。

3 卒園式・修了式

(1) 卒園式	① 短縮等必要な対策を行い実施	86
	② 園児、教職員だけで実施	1
	③-1 延期して、対策を行い実施	21
	③-2 延期して、園児、教職員だけで実施	0
	④ 実施しない	13
(2) 修了式	① 短縮等必要な対策を行い実施	32
	② 園児、教職員だけで実施	26
	③-1 延期して、対策を行い実施	7
	③-2 延期して、園児、教職員だけで実施	1
	④ 実施しない	34

※修了式は、元々実施していない園、保護者が参加していない園もあります。

第39回・政令指定都市私立幼稚園団体協議会 静岡大会

『第39回政令指定都市私立幼稚園団体協議会静岡協議会』が2月6日・7日にホテルセンチュリー静岡に於いて、政令20都市の代表が参加し開催されました。

札幌市私立幼稚園連合会からは、前田会長、藪・丸谷・中村の3副会長と担当理事の前鼻先生、合わせて5人が参加致しました。

開会式の後の基調講演は、公益財団法人浜松市花みどり振興財団理事長の塚本こなみ氏に「心根を育てる」という演題でお話いただきました。樹木医として向き合う中で、「枯葉の症状は全て根にある」ということから、私たちが根っこを育てているものとしての責任を改めて痛感致しました。不登校児との関わりや取り組みのお話の中からも寄り添い、相手の気持ちを汲み取る姿を見つめ直す機会となりました。

特別講演では、文部科学省初等中等教育局幼児教育課長 森友浩史氏に「幼児教育の無償化に伴う諸課題

について」お話をいただきました。

2日目は、各都市から事前にいただいたアンケートを基に情報交換をしました。『質の高い幼児教育の構築』として「学校評価」「保育者の質の向上を目指した研修」「特別支援教育の取り組み」「教員確保」等についてを話し合い、『無償化に伴う環境の変化や諸問題』では、「各団体と行政とのかわり」「予算要求や陳情等」について意見交換が成され、今後の団体の取り組みの参考になる話し合いとなりました。



札幌市幼稚園初任段階における研修・2年次目研修(夏)

今年度2年目を迎えた先生たちの夏の初任段階研修が、令和元年8月2日(金)ちえりあ講堂で行われました。講師に大藤学園教務局長の大谷壮史先生をお迎えし、135名の先生が参加しました。

事前に参加者各自が用意した保育のエピソードを他の人に伝えるワークを通し、見たままや出来たことを伝えるだけではプロではないということや、受け取る側に保育の情景や子どもの育ちが伝わってくるようにする保育伝達のポイントを学んでいきました。保育のサイクルを繰り返しながら次の援助につなげていくこと、目の前の子どもを見取り、記録するところから日々の保育の探求につなげ、保育を語れるようになってほしいということが参加者の皆さんにも伝わったように思います。

参加した先生からのコメント

「どのようにしたら相手に伝わりやすいか、順序立ててから伝える事が大切。保護者にお伝えする時には意識して話していきたいです。」

「子どもの姿をよく観察した上で、専門家としてどう接したのか、子どもはどんな様子だったのか、要素を絞って相手に伝え、その時の保育の情景や子どもの育ちを伝えられるよう日々経験を積み重ねていきます。」



札幌市幼稚園初任段階における研修・2年次目研修(冬)

もうすぐ幼稚園教諭・保育教諭になり2年目を終えようとしている先生達。初任段階の最後になる研修を冬休み中に行いました。～雪や冬を楽しむ保育を学ぼう!～をテーマに、講師に【自然体験指導員日本シェアリングネイチャー協会公認インストラクター古川美枝子氏】をお迎えし、147名の先生が参加しました。

今年は積雪が例年と比べると殆どない状態での開催でしたが、講師の先生は会場である市立大通高校に何度か足を運びグラウンドの状況を見て研修内容を考えて下さいました。発達に応じた保育教材と教師の役割「雪」を活用した体験活動として実際に実技→講義→協議と研修を進めました。雪上での実技では【じゃんけん列車】で走り回り、【人型当て】に歓声を上げ、最後は黒い紙を手に【雪の結晶探し】この日の天候で探すのは大変そうでしたが真剣に探し、見つけた時には歓声を上げていました。ひと汗かいた後は講堂に戻り、振り返りと協議を行いました。【保育に生かす雪体験】【札幌らしい特色ある教育(雪)について】これらをテーマにグループでの話し合いも行いました。「教える」よりも「分かち合う」「楽しさは学ぶ力」保育者が【楽しむこと】【楽しい!】【楽しさを知っているか】、子どもと共感出来る【心】を持てるか、それにはたくさんの【原体験】が必要であることなど多くのことを学ぶ機会になったと思います。冬の自然を体験出来る活動が子ども達の原体験の充実にもつながる。講師の先生の言葉を心にとめながら、きっとこの冬は子ども達と雪遊びを楽しんだのではないのでしょうか?

冒頭で芝木研究委員長が「決められた研修への参加は今回が最後、これからは自ら研修に参加し、常に学ぶ気持ちを持ち続けてほしい」とのお話がありましたが、この言葉も忘れずにいてほしいと思います。



第6回

だいすき

マッキーの文房具

保管

コクヨ HARD CLEAR HOLDER
MOTTE <モッテ>

クリアファイルは皆さん勿論持っていると思います。様々な柄でお気に入りのファイルを使っていると思いますが、こちらの、シンプルなハード クリヤーホルダー、「MOTTE モッテ」を敢えて紹介したいと思います！研究大会など、必要な書類を入れたファイルだけをカバンにいれていくことがありますが、そんな時カバンの中でファイルが折り曲がってしまうことはありませんか？また、普段でも書類がはみ出してはじが折れてしまうことも。こちらのモッテは中仕切りが丈夫なので持ち運びに便利！！そして、書類が落ちにくい脱落防止ストッパー付きなので安心です。仕切りがあるので、書類の整理もできる優れたもの！一つ持っているとな便利ファイルだと思います。

定番カラーはライトブルー・
ライトグリーン・ライトグレー
ライトピンク・紫・黄の6色。
限定カラーも時期によってある
ようです！サイズは
A4（希望小売価格230円）
A3見開き
（希望小売価格270円）
です！！



切る

サンスター文具株式会社

かどまる PRO コーナーカッター

幼稚園で使うものをラミネートすることがあると思います。ラミネートすると、カドがとがって危険なことがありますね。また、子どもの作品や、遊びに使うカードのカドをまるくしたい・・・。そんな時、便利なのが「かどまる」！！S（3mm）M（5mm）L（8mm）の差込口があり、コピー用紙3枚までの厚さを一度に穴あけパンチのように上からレバーを押してカットします！！ラミネートしたものもラクラク切れます！

この、「かどまる PRO」（希望小売価格980円）の他にも持ち運び便利な手のひらサイズの「かどまるん」（希望小売価格600円）。薬の包装など凹凸があってもカットできる「かどまる3」（希望小売価格600円）がありますので、身の回りにあるトンガったカドをちょっと可愛く優しいマルにしたい方は見てみて下さい！



文房具の紹介をはじめ、今回で9回目になります。最初は、自分が使っているお気に入りの文具紹介からはじまりましたが、このコーナーをはじめてから更に、文房具が好きになり、調べてきました。次々と新しい、進化した物が発売されていることがリアルタイムに分かり驚きや感動することが多々ありました。

このコーナーを見て下さった皆様が、お気に入りの文具を見つけ、モチベーションがあがったり、作業の効率が上がったりと仕事に活かされることがあったのであれば、こんなに嬉しいことはありません！毎号、見て下さり、本当にありがとうございました。文房具「愛」は永遠に不滅です！

便利

株式会社カンミ堂

maco

ペンサイズのマスキングテープホルダー

今までもマスキングテープに関係する文具を紹介しました。マスキングテープは便利ですが、色々な柄を持ち運ぶにはかさばり、ペンケースなどに入れて歩くと側面にゴミやホコリがつくことがありますよね。そんな悩みを解決してくれる最近のお気に入りグッズはこの「maco マコ」。ペンサイズのマスキングホルダーケースで、本体に付属の「小巻き器」と専用の芯を使い市販のマスキングテープを巻き替えてケース本体にセットすることで、最大4柄のテープをペンケースやポーチに入れて持ち運べます。本体はテープカッター付きで綺麗にカットすることもできます！
本体（希望小売価格620円）
コマキ芯10本（希望小売価格240円）



令和2年度・札幌市予算(私立幼稚園関係)～特別支援教育事業補助金・基準額拡充～

昨年11月25日に札幌市への予算要望した以降も札私幼執行部は、前田会長を中心に子ども未来局と予算折衝を行ってまいりました。その結果として、令和2年度札幌市予算案が発表された中【特別支援教育事業費補助金】に関して、今回も拡充がありました。

※特別支援教育事業補助金(一園当たりの基準額)

令和元年度 → 953,550円
 令和2年度予算案 → 976,950円
 (23,400円の単価アップ)
 時給 842,400円=1,080円/時×4時間×5日/週×39週
 交通費 134,550円=690円/日×5日/週×39週
 上記合計 976,950円

※新基準(令和2年度予定)

要支援児数	教諭数	補助単価
1～4人	1人	976,950円
5～8人	2人	1,953,900円
9～12人	3人	2,930,850円
13～16人	4人	3,907,800円
17人以上	5人	4,884,750円

※令和2年度予算案につきましては、この度開催されている市議会の審議の結果議決される見込みです。この度の予算要望、予算折衝に関しましては皆様からいただいたご支援のおかげと感謝しております。ありがとうございました



連台会日誌

札幌市私立幼稚園連合会の主な動き
(予定を含む)

- 1月10日(金) 初任段階における研修「理論・実践研修3(2年次)」(市立札幌大通高校)
- 1月15日(水) 初任段階における研修「理論・実践研修2」～16日(木) (ちえりあ講堂)
- 1月20日(月) 総務委員会・理事会・永年勤続表彰・新年交礼会(札幌ガーデンパレス)
- 2月3日(月) 振興委員会
- 2月6日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会静岡協議会～7日(金)
- 2月12日(水) 乳幼児保育研修(かでの2・7)
- 2月18日(火) 研究委員会
- 3月2日(月) 総務委員会・理事会・臨時総会・設置者園長研修会(中止)
- 3月4日(水) 広報委員会(中止)

- ～26日(土) 教育研究大会 全体会(カナモトホール(札幌市民ホール))
- 12月8日(火) 総務委員会・理事会・養成校懇談会(札幌ガーデンパレス)
- 1月18日(月) 総務委員会・理事会・永年勤続表彰・新年交礼会(札幌ガーデンパレス)
- 2月4日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会～5日(金) 横浜協議会
- 3月1日(月) 総務委員会・理事会・代表者会議・臨時総会(札幌ガーデンパレス)

[令和2年度の主な予定]

- 5月15日(金) 総務委員会・理事会・代表者会議・定時総会(札幌ガーデンパレス)
- 7月7日(火) P連ふれあい交流会(北ガスアリーナ札幌46(札幌市中央体育館))
- 7月13日(月) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会広島大会～14日(火)
- 9月22日(火・祝) 就職フェア(札幌ガーデンパレス)
- 9月25日(金) 教育研究大会 公開保育研究・分科会



第71回 さっぽろ雪まつり市民雪像から
(坂本事務局長・有志参加)



先日、11年前の卒園生がお母様と幼稚園を尋ねに来てくれました。年長の頃は病気を患っており、よく北大にお見舞いに行っていました。毎日苦い薬を嫌な顔をせず飲み、なんでも頑張る男の子。立派な高校生になった姿を目の前に、当時の姿を鮮明に思い出しました。今はすっかり病気もよくなり、陸上ホッケーの国体に選ばれ、海外にも短期留学を繰り返していると報告を受けました。お母様から、初めての集団生活で出会った先生が今でも1番心に残っていること、子どもにとって、いつまでも大好きな先生であるとの言葉を頂きました。改めて子どもに自分が与える

影響の大きさを感じるとともに、子どもの記憶、心に残る素晴らしい仕事をさせてもらっていることを噛み締めました。

縁があり、今の幼稚園で働き、沢山の子どもたちに今までめぐり会えました。そして、私はそこから更に縁が繋がって広報委員をさせて頂くことが出来ました。この仕事に携わり、一つひとつの記事に込められた想いや出来上がるまでの苦勞を知ることが出来たことは大きな学びとなりました。委員会で出会えた先生方からも学ばせて頂くことが沢山あり、毎回パワーも頂きました。また、手に取り読んでくださった、広報誌を通して繋がっている皆様にも感謝しています。これからも、人との縁を大切に、自分が関わる事が出来る仕事や経験を人生の糧にしていきたいと思えます。

(広報副委員長・榎本 真樹)